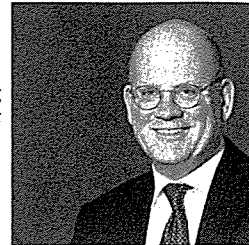


2日のGE発表文によると、フラナリー氏への権限移譲がスムーズに進んでいるため、イメルト氏が前倒しで会長退任を決定したとしている。

GEイメル 新CEO、



CEOに就任したジョン・フラナリー氏。GE提供

日の2017年4月6月... 後継のフラナリー氏... 期決算の会見で、抜本的なコスト改善に取り組み... 決意を示した。並々ならぬ意欲を見せるのは株式市場からのプレッシャーを受けているからだ。

フラナリー氏がコスト削減対象として目を付け... M&A(合併・買収)や... 物言う株主で知られる

発表した。その後、経営危機が深刻化したJDIの財務改善を優先する... 期を決めた経緯がある。

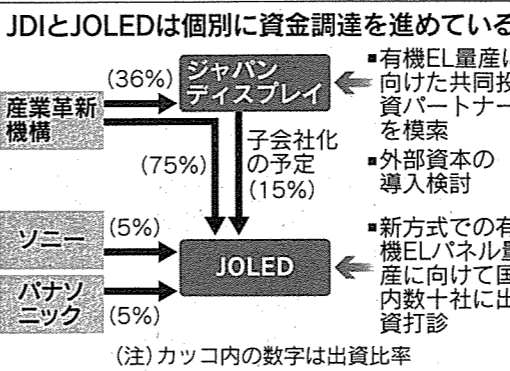
大型はJOLED、スマホや車載などの小型はJDIと市場、こにすみ分け、ともに有機EL事業を軌道に乗せる計画だ。

冷蔵倉庫会社を買収... セイノーホールディングス(HD)は倉庫会社の昭和冷蔵(東京・中央)と子会社のショレイフィット(同)を買収し、金額出資子会社にした。昭和冷蔵は首都圏の3カ所にあわせて約7万坪の冷蔵冷凍倉庫を持つ。セイノーHDは食品市場の拡大をうけ、冷蔵冷凍物流の強化を目指す。

有機ELテクノに経営再建

経営再建中のジャパンディスプレイ(JDI)グループが、有機ELをテクノに経営再建を目指す。15%出資するJOLEDは独自の低コスト生産方式の開発にメドをつけ、量産投資に動く。JDI本体も支援企業の選定に入る。まずスマートフォン(スマホ)向けパネルの量産に必要な2000億円規模を共同投資する提携先企業を募り始めた。資金繰りに苦しむJDIは2018年3月までに支援企業を決める計画だ。(一面参照)

JDIグループ



中国BOEなど 資金支援を検討

JDIは8月に外部資本の導入を含めた抜本的な経営再建策を年度内に決めると表明した。10月には競合のパネルメーカーを中心にプロポーザル方式で支援提案の募集を開始。JDI側が選定し、個別交渉に臨む。現時点では中国パネル大手の京東方科技集団(BOE)などが関心を示しているという。

2000億円超の負担を要請しているという。JDIが持つ国内工場に新規投資して量産技術を確認し、パートナー企業に技術供与して還元する方針。JDIは液晶と共通する駆動部分については

競争力が高い。有機EL特有の発光部分などの制御技術を確立して韓国サムスン電子への対抗軸を形成する。ディスプレイ産業は巨額投資が必要なため中国や韓国、台湾の競合メーカーが有力候補となる。現時点ではBOEのほか華星光电(CSOT)など中国のパネル大手が関心を示しているという。

JDIは共同投資のパートナー企業を選定した上で、18年3月をメドに資本注入を含めた経営再建策をパートナー企業とともに策定する。「将来的に複数企業の出資を受け入れる」(JDI幹部)方針。JDI株の36%を持つ筆頭株主の産業革新

ファナックはシーテックに初出展した。露。パートナーとなるIT業界の企業や人材に、次世代の製造業の姿をアピールした。

電機大手各社は次世代技術を使う消費者向け製品や技術の展示に力を入れ、来場者に未来の生活を紹介した。目立ったのは音に関する技術だ。富士通は健康管理をする人工知能(AI)スピーカーを披露した。センサーに指を乗せると血管年齢や心拍数などを計測し、健康管理に関する助言をする。円筒状のスピーカーに加え、壁に設置する鏡型のスピーカーも展示した。

AIで工場づくり

三菱電機など連携 工程スムーズに

三菱電機や富士通、産業技術総合研究所などが人工知能(AI)を活用した工場づくりで連携する。AIで作業者の習熟度や体格差などに応じた行動パターンを収集・分析。製造工程のスムーズな流れの制約になりそうなポイントをあらかじめ特定するなどして、習熟度の低い人などでも工場現場で働きやすくする。製造現場で強まる人手不足の解消につなげる。

他に富士電機や京大など15程度の企業や研究機関により構想の検討を始めており、今後詳細を話し合っていく。三菱電機は工場での機械やその自動化技術

工場を新設する際だけでなく、多くの製造業で「大量生産」から「多品種少量生産」への移行が進むなか、頻度が高まっているラインの変更や作業内容の変化にも対応しやすくなる。工場での組み立てや検査工程を中心に、ミスが起きやすかったり、疲労がたまりやすかったりする

ポイントをあらかじめ特定し、重点的にサポートを手厚くするなど対策につなげる。機械の稼働状況のみならず、働く人の行動分析とそのモデル化にまでAIを使うことで、習熟度の低い人や女性、高齢者などでも工場の作業に従事しやすくなる。

品質管理のデミング賞 中條・中大教授ら受賞... 日本科学技術連盟(佐々木真一理事長)は3日、総合的品質管理(TQM)の研究などで優れた成果をあげた企業や個人を表彰する2017年度の「デミング賞」各賞の受賞者を発表した。個人が対象のデミング賞本賞には中央大学理工学部経営システム工学科の中條武志教授を選んだ。TQMの体系化や標準化に取り組む、品質管理の普及に貢献したことが評価された。

デミング賞を過去に受賞し、その後も成果をあげた企業などを表彰するデミング賞大賞にはタイの物流会社、SCGロジスティクスが選ばれた。デミング賞は商用車メーカー、アシヨックレイランド(インド)の工場、自動車タイヤメーカー、CEAT(同)に決まった。TQMに関する優れた書籍を発表する日経品質管理文庫賞には「現代オペレーションズ・マネジ

住宅見学 VR活用 日本ユニシス

日本ユニシスと戸建て住宅会社のジブンハウス(川崎市)は10月上旬から仮想現実(VR)で住宅の見学ができるサービス(スマホ)を通じて、

あたかも住宅展示場のようにならな住宅を無料で見学できる。

「e Market(マイホームマーケット)」では、地域密着型の工務店を中心に利用を促す。その場にいるような感覚で住宅内を360度見渡せる。住宅の見学もVRシミュレーションも出せる。

「デミング賞」各賞の受賞者を発表した。個人が対象のデミング賞本賞には中央大学理工学部経営システム工学科の中條武志教授を選んだ。TQMの体系化や標準化に取り組む、品質管理の普及に貢献したことが評価された。

「デミング賞」各賞の受賞者を発表した。個人が対象のデミング賞本賞には中央大学理工学部経営システム工学科の中條武志教授を選んだ。TQMの体系化や標準化に取り組む、品質管理の普及に貢献したことが評価された。

スマート工場の技発信



見本市シーテック ファナック、初参加

ファナックはシーテックに初出展した

露。パートナーとなるIT業界の企業や人材に、次世代の製造業の姿をアピールした。初出展のファナックは同社初の本格的IoT商品で、今月2日に運用を始めたIoT基盤「フィールドシステム」を重点的に展示。シーテック会場内で会見した稲葉善治会長は「まだまだ手が届かないシステムだが、小さく生んで大きく育てていきたい」と普及に向けた「意気込みを語った。

電機大手各社は次世代技術を使う消費者向け製品や技術の展示に力を入れ、来場者に未来の生活を紹介した。目立ったのは音に関する技術だ。富士通は健康管理をする人工知能(AI)スピーカーを披露した。センサーに指を乗せると血管年齢や心拍数などを計測し、健康管理に関する助言をする。円筒状のスピーカーに加え、壁に設置する鏡型のスピーカーも展示した。

品質管理のデミング賞 中條・中大教授ら受賞

日本科学技術連盟(佐々木真一理事長)は3日、総合的品質管理(TQM)の研究などで優れた成果をあげた企業や個人を表彰する2017年度の「デミング賞」各賞の受賞者を発表した。個人が対象のデミング賞本賞には中央大学理工学部経営システム工学科の中條武志教授を選んだ。TQMの体系化や標準化に取り組む、品質管理の普及に貢献したことが評価された。

デミング賞を過去に受賞し、その後も成果をあげた企業などを表彰するデミング賞大賞にはタイの物流会社、SCGロジスティクスが選ばれた。デミング賞は商用車メーカー、アシヨックレイランド(インド)の工場、自動車タイヤメーカー、CEAT(同)に決まった。TQMに関する優れた書籍を発表する日経品質管理文庫賞には「現代オペレーションズ・マネジ

新社長

◇IHI回転機械エンジニアリング 石毛 秀明氏(いしげ・ひであき)84年(昭和59年)早大理工卒、石川島播磨重工業(現IHI)入社。17年産業システム・汎用機械事業領域副事業領域長。東京都出身。56歳。IHI回転機械の前田啓二社長は代表権のない取締役に

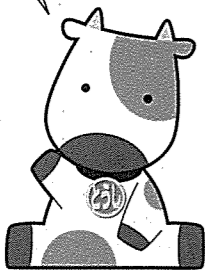
を始めよう

み切れない人は少なくない。度(NISA)に加えて、積み立:深めてみてはいかがだろう。

進む環境整備 投資への不安払う

証券投資の日とは?

日本証券業協会は1996年、より多くの人に証券投資に興味・関心を持ってもらうため、「10(とう)」「4(し)」の語呂合わせから10月4日を「証券投資の日」と決めました。



ンター どうしくん

所、大阪取引所、名古屋証券の証券団体などが参加し、肌している共同事業です。